



小川 剛
(清風クラブ)

有害鳥獣対応・ クレー射撃場について

これまでの対策と実績について

問 鳥獣被害も増加し、耕作放棄地や空き家、森林伐採対策等、市を先頭に住民を巻き込み、計画的な地域毎の対策を提案する事が仕事と考えるがどうか。

答 捕獲事業だけでは対応が難しく地域住民の協力や意見を仰ぎながら対応し施策に反映します。有害鳥獣対策協議会設置について

問 早期設置を要望するがどうか。

答 本年度中の設置を目指し安中市被害防止計画の見直しや拡充、捕獲・防除・追ひ払い計画の体制作りを考えています。

小中学校の鳥獣対応について

問 教育委員会の対応はどうか。

答 一部の小学校入学時に「熊よけ鈴」を配布し、出没時は農林課に情報を伝え対応しています。カワウの今後の対応について

問 上州漁業に任せきりでなく、市も対策を進め他地域と広域連携が必要だと思うがどうか。

答 捕獲は漁業組合が申請者であり対策を講じてませんが、必要な施策を近隣市町村と連携し防除対策に反映したいと考えます。

ライフル射撃場建設について

問 県実施の騒音測定結果の早期公表と地元が悩まされてきた騒音対策を市から群馬県にしっかりと伝えるべきと思うがどうか。

答 地元住民の意見を踏まえ、最善の防音対策を設計段階から県と協議し効果のある防音壁の設置を求めています。



サル誘導捕獲わな



柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

高齢者の自動車運転・ 都市間交流・地域振興・ 観光振興について

高齢者運転免許自主返納について

問 昨年と比較して今年の高齢者免許取得者数と保有率の増減は。

答 昨年の高齢者免許取得者は、一万二千二百六十八人で保有率は、二八・一％、今年は一万二千七百三十人で保有率は、二九・四％で若干増加傾向です。

問 運転に不安を感じ免許証を自主返納した高齢者の現状は。

答 昨年度は六十九人、今年度は百八人で、運転経歴証明書の発行は、昨年度が五十二人、今年度は九十三人と増加傾向です。

問 運転経歴証明書の交付手数料を負担すべきと思うが。

答 関係機関等と連携し、検討しているところです。

問 現在の公共交通が高齢者の生活支援として機能しているのか。

答 高齢者には公共交通が利用しにくい状況になっています。

問 高齢者の生活支援として、路線バスが団地、商業施設、病院

など巡回するように変更可能か。

答 既存の路線体系を根本から見直す必要があります。

問 既存の制度の中でタクシー利用券の適用範囲の拡大は。

答 免許の自主返納に限定したタクシー利用券の発行等について検討していきたいと思えます。

その他、高齢者事故防止、友好都市提携の拡充、廃校の有効活用、八風平キャンプ場の活性化について質問しました。



運転経歴証明書申請用紙